

令和元年度

学校関係者評価報告書

令和2年7月

学校法人日本コンピュータ学園

東北保健医療専門学校

## 令和元年度 学校関係者評価報告書

平成20年度に学校教育法施行規則が改定となり、専門学校による学校自己評価の実施が義務化されたことを受けて、東北保健医療専門学校では、平成24年度より教育活動実施状況を総合的かつ客観的に点検・評価し、問題点を明らかにした上で、次年度の教育活動や学校運営の改善に活かし、開かれた学校づくりを進めることを目的とした「学校自己評価」を実施しています。

さらに、平成25年度からは、卒業生、関係業界、学識経験者から成る「学校関係者評価委員会」を設置し、学校関係者による評価も実施しております。

令和元年度の教育活動や学校運営などについて、全教職員で学校自己評価を実施しました。その結果に基づき、学校関係者評価委員会を開催し、多くの貴重なご意見やご指導を頂きました。

今後とも学校関係者評価を計画的、継続的に実施し、教育の質の向上、学校運営の改善強化に向けて取り組んでいく所存です。

### 1. 学校関係者評価委員会（令和2年7月9日実施）

#### 学校関係者評価委員

菊田 正信 氏	学校法人日本コンピュータ学園	卒業生（委員長）
三浦 陽平 氏	独立行政法人国立病院機構仙台医療センター	作業療法士
渡部 達也 氏	株式会社わざケア	代表取締役
渡邊 好孝 氏	医療法人社団光友会	介護老人保健施設アルパイン川崎 地域包括ケア推進部 部長

#### 事務局

清水 逸	校長
大苗 敦	法人事務局 部長
上遠野純子	東北保健医療専門学校 教務部長
佐藤 美加	東北保健医療専門学校 教務課長
和地 辰紀	東北保健医療専門学校 教務主任
鈴木 香織	東北保健医療専門学校 総務課長代理

## 2. 評価対象期間

自：平成31年4月1日

至：令和2年3月31日

## 3. 実施方法、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、学校関係者評価委員の皆様「学校自己評価」の結果について事務局より説明し、評価結果に対するご意見を頂きました。頂いたご意見は、本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等に公表致します。

#### 4. 評価基準毎の学校関係者評価

評価項目毎に委員からの評価、意見、提案を報告します。

評価は、4～1の点数で記載します。

評価 4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切

##### ■基準1 教育理念・目的

評価 4

- ・ 教育理念・目的、育成人材像について明確に定められ、学生便覧・学修要項（運営方針・教育計画）・入学案内・ホームページで広く周知している。また、今年度はアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの作成と公表が行われた。
- ・ 教育課程編成委員会の委員からの意見を踏まえ、学科ごとに業界の現状を見定めながらカリキュラムを検討するとともに、点検、更新作業を実施している。業界のニーズを踏まえたカリキュラムの変更の検討が行われている。
- ・ 介護福祉科は令和2年度より5名の留学生受け入れが確定した。
- ・ 今後は、社会経済のニーズや地域・病院・施設等の業界ニーズを踏まえた将来構想を、長期的な展望に立って構築していくことが必要である。

##### ■基準2 学校運営

評価 4

- ・ 学則の目的、基本方針及び職業実践専門課程の目的に基づいた運営方針を策定している。今年度は修学支援新制度のガイドラインに基づいた運営にも取り組んでいる。
- ・ 人事、給与の制度は法律改正に合わせた見直しを適宜実施し、整備、運用している。
- ・ 組織体制の整備や各委員会などの責任・役割・内容を決定し、円滑な意思決定システムの整備をして頂きたい。

##### ■基準3 教育活動

評価 4

- ・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針を策定しており、業界のニーズを踏まえ今後もより良い検討を進めて頂きたい。また、教育到達レベルや学習時間の確保については、学科ごとに十分に検討・改善され、到達レベルに応じて演習指導が行なわれている。
- ・ 理学療法科・作業療法科・介護福祉科は指定規則改訂に伴い見直し、新カリキュラムを

作成している。歯科衛生科は、卒後の職域拡大や国家試験内容も踏まえたカリキュラムと履修時間数の検討を行っていただきたい。また、医療情報管理科は、取得資格の選定とカリキュラムの内容を検討して頂きたい。

- ・ 理学療法科・作業療法科では新カリキュラムの実施に向けて、関連業界と連携して授業、実習の検討を継続している。さらには、実習において、実習期間や評価方法などを検討して頂きたい。
- ・ 授業評価アンケートは、学生が教員を評価するのみでなく、より学習効果を促進できる内容に改善して頂きたい。
- ・ 教員の研修については、専門分野の最新技術・知識や指導力向上のための研修を必要に応じて実施している。さらに、職員の能力開発のために、教職員の意見も反映した研修計画を立案、実施して頂きたい。

---

#### ■基準4 学修成果

評価 4

- ・ 就職については、担任と就職センターが連携し、学生への早期意識づけを行うなど、きめ細かな支援をすることで良い結果が出ており、今後も継続して頂きたい。
- ・ 学校全体として資格取得率の向上が図られている。引き続き国家資格・各種資格試験の合格率向上のため学科単位、学校全体として、さらなる対策強化に期待したい。
- ・ 退学率低減のために、入学直後から学生面談や学習支援を行うなど、早期から学生の状況把握に努めたが、大幅な退学率の軽減には至らなかった。今後は、保護者との情報共有を充実させ、基礎学力の把握と早期学習支援を図り、より積極的な取り組みをして頂きたい。

---

#### ■基準5 学生支援

評価 4

- ・ 学生の進路・就職については、「就職支援プログラム」の下、担任と就職センター、担当教員が連携して計画的に指導が行われている。
- ・ 学生相談に関する体制は、担任が相談を受け付け、当校の学生サポート委員会が問題・課題に応じて保健室・カウンセラー・就職センターなどへ振り分けをすることで対応してきたが、今後とも学生が相談を受けやすいような環境の整備を行なって頂きたい。
- ・ 生活面及び健康管理に対する支援体制は整備されている。新たに、感染症予防対策に向けた取組みも合わせて実施をして頂きたい。
- ・ 課外活動については、ボランティアの紹介や協力など必要に応じて支援が行われている。

ることがうかがえる。今後は災害支援などへの関心や取組みのあり方も模索してい頂きたい。

- ・ 学生寮をはじめ、校内にはメディアセンター、ライセンスサポートセンター、食堂、売店、就職センター、保健室、学生相談室、自習室などを備え、適時個別の相談を実施し、学生の生活環境への十分な支援が行われている。
- ・ 介護福祉科の高校訪問ガイダンスや介護従事者確保対策事業で高校を訪問するなど、積極的に情報発信してきたことがうかがえる。今後も職業理解を深める企画の実施や高校と連携したキャリア教育・職業教育を推進して頂きたい。

---

## ■基準 6 教育環境

評価 3

- ・ 理学療法科・作業療法科は、指定規則改訂に伴う新規備品の購入と実習室が整備された。さらに、開校時に設置した設備、備品の更新を含めた整備を計画的に実施して頂きたい。
- ・ 関連分野において、学外の見学実習、臨地・臨床実習が体系的に位置づけられ、実施できているが、引き続き各学科において協力施設の確保を進めて頂きたい。

---

## ■基準 7 学生の受け入れ募集

評価 4

- ・ 学生募集広報活動は適正に行われており、教育成果も正確に伝えられている。今後も入学希望者に積極的に情報発信するとともに、職業理解を目的とした「体験実習」を充実させ、入学後のミスマッチを防ぐ工夫もしている。今後は、適切な入試情報の他、アドミッションポリシーやディプロマポリシーなどを学生により分かりやすく、正確に伝える工夫を行なって頂きたい。
- ・ 学納金は、教育内容や教育環境、他校の学費水準に照らし協議のうえ決定されていることは、妥当であると考え。さらに卒業までに必要な経費全てについても、募集要項に記載され、透明性のある情報提供を行っていることは、今後も継続して頂きたい。

---

## ■基準 8 財務

評価 4

- ・ 学校の財務状況及び会計監査は適正なものであり、今後も予算編成・執行等、財務基盤の安定に努めて頂きたい。
- ・ 財務状況はホームページ上で公開されており、情報公開の体制整備ができている。

**■基準 9 法令等の遵守**

評価 4

- ・ 関連法令・施設設置基準ならびに個人情報の取り扱いについては、適正に周知・遵守しており、引き続き的確に実施して頂きたい。
- ・ 個人情報の保護については規則や基準に基づき、学生及び教職員へ周知するとともに、適切に管理・運用している。
- ・ 学校自己評価は実施し、課題の明確化を行っている。さらに、内容を事業計画に反映し、改善に取り組んで頂きたい。
- ・ 自己評価結果は適切に公開している。

**■基準 10 社会貢献・地域貢献**

評価 4

- ・ 宮城県委託事業の離職者等再就職訓練（介護福祉士養成業務）の受託や介護人材確保事業として進学相談及び公開講座を開催し、保健・医療・福祉・介護の仕事の魅力や大切さを伝える取り組みを推進していることがうかがえる。
- ・ 宮城県歯科衛生士離職者支援事業協議会に参画し、歯科衛生士人材確保に向けた取り組みを実践している。歯科医師・歯科衛生士関連団体の学会・研修会への会場貸し出しなどについて積極的に取り組んでいることは「開かれた学校」として、保健・医療・福祉・介護を担う専門職を育成する養成校として、県民の保健福祉に資するような研修企画を今後も実施協力を頂きたい。

**■基準 11 国際交流**

評価 4

- ・ 姉妹校である仙台国際日本語学校の協力により、ベトナムから 5 名の留学生が本校の介護福祉科に合格し、入学が内定している。これからは介護福祉士国家試験に合格できるよう学校のきめ細かな教育支援を期待したい。

以上

---

学校法人日本コンピュータ学園      東北保健医療専門学校

〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院1丁目3番1号

---